



1986年4月26日。
人生を変えてしまったあの恐ろしい事故—
決して過ぎ去った昔話ではない。

命をかけて
事故の拡大を食い止めた彼らは
今日も病氣と闘っている。
そしてこれからも
いくつもの病氣と共に
生きていかなければならない。

事故処理作業支援キャンペーン

チェルノブイリ被災者への 2017-2018

医薬品代にご協力ください

02	名古屋	払込取扱票		通常払込料金 加入者負担	
口座記号番号				金額	
00880	7	108610			
加入者名	特定非営利活動法人 チェルノブイリ救援中部			料金	備考
通信欄	※ 事故処理作業支援金（領収書 要・不要）				
ご依頼人	おところ（郵便番号 - ） おなまえ			日附印	
（電話番号 - - ）					

裏面の注意事項をお読みください。（ゆうちょ銀行）（承認番号名第10951号）
これより下部には何も記入しないでください。

振替払込請求書兼受領証					
口座記号番号	00880	7	通常払込 料金加入 者負担		
	108610				
加入者名	特定非営利活動法人 チェルノブイリ救援中部				
金額					
ご依頼人	おなまえ 様				
料金	日附印				
備考					

記載事項を訂正した場合は、その箇所に訂正印を押してください。
切り取らないでお出ください。

この受領証は、大切に保管してください。

あなたの支援が、
彼らの一筋の光となります

各票の※印欄は、ご依頼人において記載してください。



事故処理にあたった消防士や軍人、警察官、医師や看護師、また汚染された車両や家屋などを除染した作業員など、多くの人が高線量の被曝をしました。



事故から 31 年— 国はリクビダートル(事故処理作業者)を忘れようとしている

事故処理作業者の医療保障額は 1 人あたり年間 26 グリヴナ(約 104 円)なのですから、それでどんな治療ができるというのでしょうか。

輸入医薬品の価格は 2010 年に比べ 10~15 倍に上がり、必要な検査も有料で治療費は増えるばかりです。しかし、事故処理作業者の 95%はその障害があるために働くことが出来ません。

ガン、そのほか心臓血管疾患、甲状腺、糖尿尿など多くの病気を抱えています。問題はみな 3~4 つと病気が多いのです。

今でも高線量の被曝を受ける消防士—

1986 年 4 月から 5 月にかけて事故処理にあたったジト—ミル州の消防士たちの数は 289 名でした。そのうち 93 名は若くして亡くなりました。事故当時の彼らの年齢は 22~24 歳。死因は腫瘍・心臓血管疾患・骨の疾患などでした。今日、健康な事故処理作業者は一人もいません。汚染された土地で火災が起きれば消火活動のため今でも高線量の被曝を受けるのです。



- 当時、事故処理作業にあたった方たちが構成する 3 つの被災者団体（リクビダートル基金・消防士基金・障害者基金）に、医薬品の購入資金（年間 110 万円）を援助しています。
- 被災者は、いくつもの病気を抱えわずかな年金で生活しています。国からの被災者への補償は実質ほとんど機能しておらず、十分な医薬品を買うことも困難です。また政治情勢により医薬品だけでなく食料品などの価格も高騰しさらに被災者を苦しめています。
- 寄付金は現地のカウンターパートである「ホステージ基金」を通じて各被災者団体へ配分されます。団体に登録された被災者らへ必要な医薬品が無償で提供されます。

特定非営利活動法人チェルノブイリ救援・中部

〒460-0064 名古屋市中区千代田 5-11-33

ST・PLAZA・TSURUMAI 本館 5 階 B 号室

TEL/FAX (052) 228-6813

メールアドレス chqchubu@muc.biglobe.ne.jp

団体ホームページ <http://www.chernobyl-chubu-jp.org/>



あなたの支援で
救われる人たちがいます

(ご注意)

- ・この用紙は、機械で処理しますので、金額を記入する際は、枠内にはっきりと記入してください。また、本票を汚したり、折り曲げたりしないでください。
- ・この用紙は、ゆうちょ銀行又は郵便局の払込機能付き ATM でもご利用いただけます。
- ・この払込書を、ゆうちょ銀行又は郵便局の渉外員にお預けになるときは、引換えに預り証を必ずお受け取りください。
- ・ご依頼人様からご提出いただきました払込書に記載されたおところ、おなまえ等は、加入者様に通知されます。
- ・この受領証は、払込みの証拠となるものですから大切に保管してください。



この場所には、何も記載しないでください。